

ドラッグインフォメーション

2026年4月改訂

販売名	ヨウ素「コザカイ・M」	発売元	吉田製薬株式会社	
局方名	日本薬局方 ヨウ素	製造販売元	小塚製薬株式会社	
洋名	Iodine	販売開始年月	1949年8月	
一般名	ヨウ素	薬価収載年月	1950年10月	
剤形	散剤	薬価	1g 10.70	
規制区分	劇薬	日本標準商品分類番号	87719	
厚生労働省薬価基準収載医薬品コード	2612702X1012	YJコード	2612702X1055	健保適用

【禁忌】(次の患者には投与しないこと。)
本剤又はヨウ素に対して過敏症の既往歴のある患者

組成	1g中 日局 ヨウ素 1g			
性状	灰黒色の板状又は粒状の重い結晶で、金属性の光沢があり、特異なおいがある。 ジエチルエーテルに溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けやすく、クロロホルムにやや溶けにくく、水に極めて溶けにくい。 ヨウ化カリウム試液に溶ける。 常温で揮散する。			
効能 又は 効果	ヨードチンキ、希ヨードチンキ、複方ヨード・グリセリン等の調剤に用いる。			
用法 及び 用量	ヨードチンキ、希ヨードチンキ、複方ヨード・グリセリン等の調剤に用いる。			
副作用	【副作用】 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。 (1) 重大な副作用 アナフィラキシー(頻度不明): 呼吸困難、喉頭浮腫、喘鳴、蕁麻疹、潮紅等があらわれることがある。			
配合 変化	【薬剤調製時の注意】 アルカロイドとは沈殿する。アルカリ、炭酸アルカリ、アンモニア、鉄、植物油、抱水クロラール、フェノール、チオ硫酸ナトリウム、タンニン等とは化合することから、本剤とこれらを配合すると本剤のヨウ素による褐色が消え、殺菌力がなくなるおそれがある。 デンプン含有物は青変する。			
薬効 薬理	グラム陽性菌、グラム陰性菌、結核菌、ウイルス、かび類に有効である。ヨードチンキはヨウ素にヨウ化カリウムを加えて可溶化しエタノール液とした製剤で、速効的な殺菌力を持つ。刺激性が強いため、創傷や口腔粘膜に用いると皮膚炎の原因となることもある。作用機序としてはアミノ酸、ヌクレオチドに対する酸化作用などが考えられている。			
薬物 動態	皮膚潰瘍患者に1日1回2週間、約3mmの厚さに散布すると尿中ヨウ素排泄量が増大する。 血漿中たん白結合ヨウ素濃度には変動は認められず、ヨウ素は速やかに排泄される。			
取扱い上 の注意	規制区分: 劇薬 貯法: 室温保存 使用期限: ラベルに記載(有効期間: 3年)			
備考	包装単位: 25g、500g	文献 請求先	吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央 5-1-10 TEL: 03-3381-2004	